

テーマ：主を待ち望む

### イザヤ書 第30章 18節

それゆえ、主は  
あなたがたに恵もうと待っておられ、  
あなたがたをあわれもうと立ち上がられる。  
主は正義の神であるからだ。  
幸いなことよ。主を待ち望むすべての者は。

私たちは神を待ち望んでいるが、神様も私たちを待ち望んでいる。  
恵もうとあわれもうといつでも待っている。  
祝福をしたい。

-----

### イザヤ書 第40章 31節

主を待ち望む者は新しく力を得、  
鷺のように翼をかって上ることができる。  
走ってもたゆまず、歩いても疲れぬ。

何度も読んだことのある聖句だが、改めて黙想してみる。  
主を待ち望む。私のペースでなく、主のペースの中で待つ。主に信頼し、委ねたときに力を与えられる。

私たちの待ち望みの性格は、自分の待ち望んでいる方がどのような方であると私たちが考えるかによって変わってくる。神に対する待ち望みは、私たちが神をどのような方として信じているかということによって、大いに左右されます。と書いてあった。

鷺が雛を崖から落とし、落ちていく雛を羽を広げて載せて、また高いところに上っていく。神様から与えられた本能。自然界の中で、雛がこれから生き抜くための鍛錬。親鷺は、風に乗って、身を委ねて、雛を羽で拾い、飛ぶ力を与えられる。

私たちも走ってもたゆまず、歩いても疲れぬ。心に力が与えられ、肉体的な疲れはあっても、吹き飛ばしてしまうのだ。その力は神からしか来ない。

-----

### イザヤ書 第49章 23節

あなたは、わたしが主であることを知る。  
わたしを待ち望む者は恥を見ることがない。

主の待ち望みは、恥を見ないと約束してくださっている。この世の中、日本では、少数派、弱い人たち、と人には思われるかもしれないが。  
イザヤの困難な時代から、主の訪れ、約束を待ち望んでいた。  
私が主であることを知る。

-----

### イザヤ書 第64章 4節

神を待ち望む者のために。  
このようにしてくださる神は、  
あなた以外にどこしえから聞いたこともなく、  
耳にしたこともなく、目を見たこともありません。

神を待ち望むということと、待ち望む者には思いもよらないことを神が示されるということ。

私たちが求め、また思うところの一切をはるかに超えて素晴らしいことをなして下さる方。